

ステータス:	終了	開始日:	2012/08/19
優先度:	通常	期日:	2012/08/19
担当者:		進捗 %:	100%
カテゴリ:		予定工数:	0.00時間
対象バージョン:		作業時間の記録:	0.00時間
説明			
<h2>状況(2012.08.19)</h2> <p>V6.21にて対処済み。</p> <p>(原因) 従来から内包していた潜在バグ。 オプション文字の解析をする際、未定義文字を検出した場合の脱出条件にミスがあった。 具体的には、文字のデリミッタ到達で判定するところを、文字アドレスがNULLであるかの判定をしていた。 なおMuse(V6.20)より、Museのビルド環境をVC++6.0からVS2008に変更した。 従来不運にも症状が出なかったのは、コンパイル結果の実行モジュールにおけるメモリ管理方式の差異と考えられる。</p> <p>(対処) 正しい脱出をするように改修した。</p> <p>(補足) 今回の改修に伴い、オプションの列挙記述も可能とした。</p>			
<h2>概要(2012.08.19)</h2> <p>(その1)</p> <p>従来のショートカットのままMuseを起動したところ、エラーが出るようになりました。 v6.1までは発生しないエラーです。</p> <pre>----- Muse システム状況 ----- ファイルがオープンできません ¥¥hoge¥muse¥-\$ -----</pre> <p>(その2)</p> <p>不正なコマンドライン文字列を与えると、長時間ハングした後にエラーを返す。 数十秒ハングした後、意味不明なエラーを返すので、是非改善すべきかと思えます。</p>			
関連するチケット:			
関連している Release # 154: Muse V6.20		終了	2012/08/18